

レタッチお助け隊

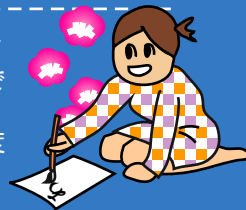
11月

FUNCTION

画像解像度

プリント向きの画像へ劇的に変換しよう

いざ、自前の写真で年賀状を作ろう!と思っても、実際、どのようなサイズに画像を調整すればいいの?と悩めるあなた。どんなにキレイに撮れている写真でも、画像サイズが不足しては満足な仕上がりになりません。ネットプリントでポストカード(年賀状など)を注文する前に、ぜひ、画像の解像度を確認してみましょう。



【今回使用したソフト】Adobe Photoshop Elements(TM) アドビシステムズ

Section 1

画像は必ずしも縮小する必要はない?

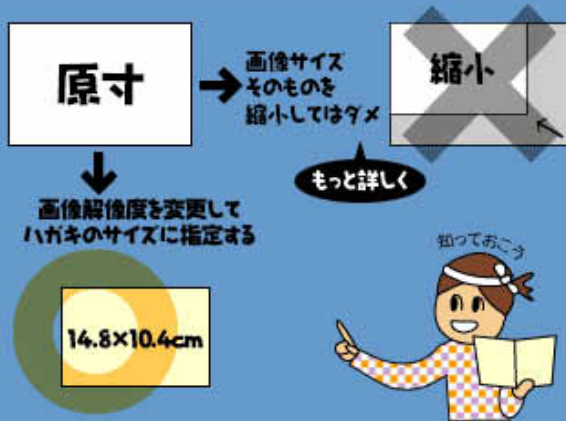
デジカメ画像をハガキ全面にプリントするときは、なるべく高い画素数で撮影するのがポイントであることを、今回のデジカメ撮影機能でお話しました。また、画像解像度は最低でも「300dpi」が必要であることも。そのため、デジタルカメラからパソコンに取り込んだばかりの画像が、いくら画面をスクロールしなくても表示できないほど大きいからといって、やみくもに縮小してしまうのは禁物です。

モニター表示では、高画素の画像は画面をスクロールしなくても表示できない場合があります



Before

■画像を縮小すると、もう二度とキレイに拡大できません
画像のサイズそのものを縮小してしまうと、せっかく高画素で撮影した画像があつという間に小さくなり、失われた情報は元には戻りません。つまり、一度縮小してしまうと、二度と美しい画像のままサイズを拡大することはできなくなるのです。



そこで、画像解像度を変更して、写真をハガキサイズに合わせます。

Section 2

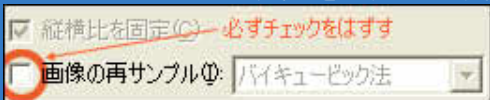
画像をハガキのサイズに合わせよう

では、実際に画像解像度を変更して、画像をハガキサイズに合わせる操作をしてみよう。



【操作手順】

- 対象の画像をアクティブにして、[イメージ]-[サイズ変更]-[画像解像度]を選択します。
- 開いたウィンドウで、一番下の項目に注目してください。初期設定では「画像の再サンプル」にチェックがついているので、それを必ず外します。
- つぎに「ドキュメントサイズ」欄の「幅」と「高さ」に、プリントサイズを入力します(単位を「cm」にするとわかりやすいですよ)。



すると、「解像度」の数値も連動して変化します。この解像度は、なるべく300dpi以上となるようにしてください。

Challenge

■プリントサイズと解像度の相対関係
左の【操作手順】の(3)では、ハガキ以外のプリントサイズ(幅、高さ)にも指定できます。その際、下の表を目安として参考にすると便利です。なお、プリントサイズが大きくなるほど「最適な画素数」は、この表よりも多少小さくても大丈夫です。それは、大きくプリントされた写真は、だいたい離れて見ることが多いからです。

【プリントサイズ別 最適な画素数】
(解像度を300dpiとした場合)

プリントサイズ	最適な画素数	
5×4cm程度(証明写真)	640×480	約35万画素相当
9×6.5cm程度(名刺)	1024×768	約80万画素相当
11×8cm程度(DSC/L)	1280×960	約100万画素相当
13.5×10cm程度(ハガキ)	1600×1200	約200万画素相当
17×13cm程度(DSCW/2L)	2048×1536	約300万画素相当
19×14cm程度(B6判)	2272×1704	約400万画素相当
21×16cm程度(A5判)	2520×1920	約500万画素相当
24×18cm程度(B5判)	2832×2128	約600万画素相当

※()内は、最も近い用紙の種類を例として挙げています

※ネットポストカードにご注文いただいたハガキは、わずかに周囲を切り落として仕上がります。そのためご注文時いただく画像は、300dpi で 14.8×10.4cm にしておく必要があります

■指定したサイズは、プリントするときだけ有効です
左の【操作手順】の(3)では、プリントするサイズの幅と高さや解像度がそれぞれ相対関係にあるため、どれかひとつを入力すれば、他の2つも連動して数値が変わります。そして、ここで指定した「ドキュメントのサイズ」は、プリントするときだけ有効なのです。つまり、画像そのものを縮小したり拡大したりすることなく、プリントサイズに合わせることができ、画質を劣化させる心配がありません。



Section 3

輪郭をはっきりさせて、仕上がりUP!

最後に、プリント結果を考慮し、より写真を印象付ける意味で、被写体の輪郭を強調するフィルタ機能を使います。最後の仕上げと思って試してみてください。

やってみよう!



【操作手順】

- 1 補正したい画像をアクティブにして、[フィルタ]-[シャープ]-[シャープ(輪郭のみ)]を実行します。
- 2 右の作例のように、目や口や顔のラインなど被写体の輪郭がはっきり際立ちます。

After

■思い通りに変換完了!
大きな画面で見ているときと違い、ハガキなどのように小さな用紙にプリントするときは、フェイスラインなどの輪郭を強調する仕上げを行っておくと、印象的な仕上がりになります。



カンタン便利派の方へ
他の補正方法は

画像をハガキサイズに整える方法は、上記でご紹介した汎用的な方法ではありません。画像処理系のアプリケーションソフト(フォトレタッチソフトなど)なら、たいてい「プリント設定」で、もっとカンタンにできるようになっています。

【操作方法】

- 1 [ファイル]-[プリントプレビュー]を選択すると、右図のダイアログボックスが表示されます。
- 2 ここで「印刷位置」や画像のプリントサイズをそれぞれ入力します。あらかじめ「用紙設定」でハガキのサイズを設定しておき、この「メディアに合わせて拡大・縮小」にチェックを入れれば、ハガキの大きさに合わせて画像のサイズが変更されます。



こんなふうに、画像解像度と画素数の関係を理解すれば、どんな写真もお好みのプリントサイズに整えることができます。そして、こうして整えられたオリジナル画像は、ぜひネットポストカードをご利用ください。さらに美しく立派な写真年賀状にして、お手元にお届けいたします。

